

戦略的な知的財産管理に向けて
- 技術経営力を高めるために -
< 知財戦略事例集 > (案)
の策定について

1 . 背景等

イノベーションを促進するためには、各企業において、戦略的な知的財産管理を行い、研究開発の効率性向上や意図せざる技術流出の防止を図ることが重要。また、企業の事業戦略及び研究開発戦略に標準化やブランドに係る取組を融合させた知的財産戦略を加え、これらを三位一体で推進することは、企業価値の向上・技術経営力の強化のために必要。

こうした中、各企業が事業戦略や研究開発戦略を意識しつつ、知的財産戦略を構築し、それを実行しようとした場合、業種・業態・事業規模等に応じた体制構築や環境整備を含め具体的には何をすべきなのかという現実的な壁に直面するといった声があった。

そこで、「イノベーション促進のための特許審査改革加速プラン 2007」(AMARI プラン 2007) に基づき、各企業が自社に最適な知的財産戦略を構築し、それを具体的に実行するにあたり考慮すべき観点や留意点を示すことを目的とした「事例集」を策定することとした。

2 . 事例集の概要

特許庁において、知的財産を積極的に企業経営において活用している国内外企業にヒアリングを行った。

さらに、大・中小企業の知財関係者、学者、弁理士等の有識者からなる委員会を設置し(別添参照)、上記ヒアリング結果情報等を参考に、4 回にわたる委員会での議論の結果を踏まえて、特許庁として「事例集」をとりまとめたもの。

- ヒアリング企業：150 社 (欧米企業 20 社を含む)
- 事例数：約 600 (うち、約 100 は失敗事例)

各企業がこれらの豊富な事例の中から、自社の体制・環境等に適合するものを参考にすることで、企業におけるより高度な知的財産戦略構築が進むことを期待。

戦略的な知的財産管理に関わる調査研究委員会 委員名簿

[委員長]

後藤 晃 東京大学 教授

[委 員]

猪之詰 毅 株式会社本田技術研究所
四輪開発センター特許技術G r マネージャー

内川 英興 三菱電機株式会社 知的財産センター長

加藤 浩一郎 金沢工業大学 大学院工学研究科教授・弁理士

神杉 和男 日本知的財産協会 理事長

上柳 雅誉 セイコーエプソン株式会社 業務執行役員・知的財産本部長

北川 和弘 東陶機器株式会社 知的財産部長

鮫島 正洋 内田・鮫島法律事務所 弁護士・弁理士

高橋 紳哉 ユニ・チャーム株式会社 執行役員・知財法務部長

伴野 国三郎 株式会社村田製作所 知的財産部長

長岡 貞男 一橋大学 イノベーション研究センター長・教授

永田 晃也 九州大学 大学院経済学研究院助教授

長浜 裕 J F E スチール株式会社 理事・知的財産部長

長谷川 暁司 三菱化学株式会社 理事・知的財産部長

松沢 隆嗣 根本特殊化学株式会社
常務取締役・センサ事業部長・開発センター所長